



山陰の海藻展示 —鳥取県立博物館の場合— 北山太樹・清末幸久

海藻民俗学者 濱田仁博士が、かつて本誌で連載された「民俗藻類学の旅」で取り上げたように、山陰地方には海藻文化の発祥の地が集中している。『出雲國風土記』(733年)に「於豆振崎^{おつふりのさき}」として登場し、ウップルイノリの語源となったうつふるい^{うつふるい}十六島^{むさし} (濱田 2007a)、和布刈神事が1600年以上続く日御碕神社 (濱田 2007b)、『出雲國風土記』にも載る古社でお祓いにホンダワラ属海藻を使用する佐太神社 (濱田 2008) など、日本の海藻文化に興味がある者にとって外せないスポットである。本稿では、神代海藻の里とも言える山陰で海藻の展示を行っている鳥取県立博物館 (図1) を紹介したい。

鳥取県立博物館は、1581 (天正9) 年に羽柴 (豊臣) 秀吉の兵糧攻め (「鳥取の渴え殺し」) に遭ったことで有名な鳥取城の入口 (西坂下御門) 前に位置する (日本城郭協会 2012)。1949 (昭和24) 年に同城跡内に設立された鳥取県立科学博物館を前身に、1972 (昭和47) 年、総合博物館として開館し、郷土の自然から歴史、民俗、美術まで多様なテ-



図1 鳥取県立博物館

マの展示を行いながら、県内外の標本・資料を収集・収蔵している。

海藻の展示は本館1階の「地学生物」エリアにある (図2)。山陰沿岸で普通にみられる海藻を第2筆者と琴浦町在住の岩田弘氏が、同町赤碕と鳥取市伏野沖大島の海岸で採集し、国陽工芸 (国分寺市) に依頼してアクリル樹脂で包埋したものを展示している。アクリル包埋標本は見た目にみずみずしさがあって、押し葉とはまた異なった味がある。2001年から2004年にかけて制作したがいまま褪色はみられない。壁面の写真はワカメ海中林を撮影したものである。

鳥取県は日本海に面し、対馬暖流の影響を強く受けて温帯性の海藻相を有しているが、日本海が成立してからの地史的年代が太平洋より遙かに短く、また隔離状態にあるために種数は少なく、鳥取県東部の海岸で約220種にとどまる (清末 2006)。潮の干満が小さいために潮間帯が著しく狭いことも原因かもしれない。展示している海藻種で挙げると、緑藻 (アオサ藻) がリボンアオサ、ツヤナシシオグサ、ミル、フサイワツタ、褐藻ではケヤリ、ワカメ、クロメ、ヒジキ、ノコギリモク、ウミトラノオ、紅藻はウミゾウメン、マクサ、ニセフサノリ、カバノリ、カニノテ、ツノマタ、ムカデノリ、ヒヅリメン、コスジフシツナギ、ユナなどが分布する。ほとんどが日本海全域にみられるもので県固有種はない。しかしながら、戦後まもなく鳥取大学に勤務し、日本藻類学会設立の発起人の一人にして鳥取海藻相研究の嚆矢でもあった生駒義博が稀少な海藻種を採集しており、それをもとに北海道帝国大学の成田清一が褐藻クロモズクと紅藻ベニモズクダマシを



図2 常設展示「海藻のなかま」。

新種記載している (Narita 1936)。後者は原記載の標本以外に採集記録が無く、日本産海藻目録 (吉田ら 2015) にも収録されていない幻の海藻である。こうした鳥取県産海藻相を纏めるべく、当館では所蔵標本の整備もすすめているところである。

鳥取県を含め山陰の海岸は、上述のように潮間帯が狭いため、流れ藻が漂着することをのぞけば一般市民が生きた海藻を目にする機会が多くない。しかし、制作を担当した第2筆者としては、海産動物の標本がひしめくフロアのなかにあり、シンプルで小規模にならざるをえなかったものの、この展示が鳥取県民や山陰の人々に海藻にも多様性があることを知ってもらい入口となることを期待している。

(国立科学博物館・鳥取県立博物館)

引用文献

- 濱田 仁 2007a. 出雲國十六島 (うつぶるい) とウップルイノリ. 藻類 55: 121-122
 濱田 仁 2007b. 和布刈神事 (めかりしんじ). 藻類 55: 218-222.

- 濱田 仁 2008. お祓いの起源ホンダワラ類と出雲の佐太神社. 藻類 56: 35-38.
 清末忠人 2006. 三 海岸の生物. In: 岩美町誌執筆編集委員会編. 新編岩美町誌上巻. p. 74-92.
 Narita, S. 1936. Two New Marine Algae from the Japan Sea. Bot. Mag. Tokyo 50: 386-389.
 日本城郭協会 (監修) 2012. 日本 100 名城に行こう—公式スタンプ帳つき—. 139 pp. 東京, 学研プラス.
 吉田忠生・鈴木雅大・吉永一男 2015. 日本産海藻目録 (2015 年改訂版). 藻類 63: 129-189.

【鳥取県立博物館】

所在地：680-0011 鳥取県鳥取市東町 2 丁目 124 番地。開館時間：午前 9 時～午後 5 時 (企画展開催中は午後 7 時まで開館する場合があります)。休館日：毎週月曜日 (ただし、月曜日が祝日の場合は平常通り開館し、翌平日を休館日とする)。入館料：個人 180 円, 団体 (20 人以上)。児童・生徒・学生とその引率者, 障がい者およびその介護者, 70 歳以上の方, 要介護者等およびその介護者等は無料。交通：JR 鳥取駅から 100 円バス「くる梨」緑コース「11 仁風閣・県立博物館」下車またはループ麒麟獅子「3 鳥取城跡」下車。Tel : 0857-26-8042 (代表)。Fax : 0857-26-8041。E-mail : hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp。URL : <http://www.pref.tottori.lg.jp/museum/>。